

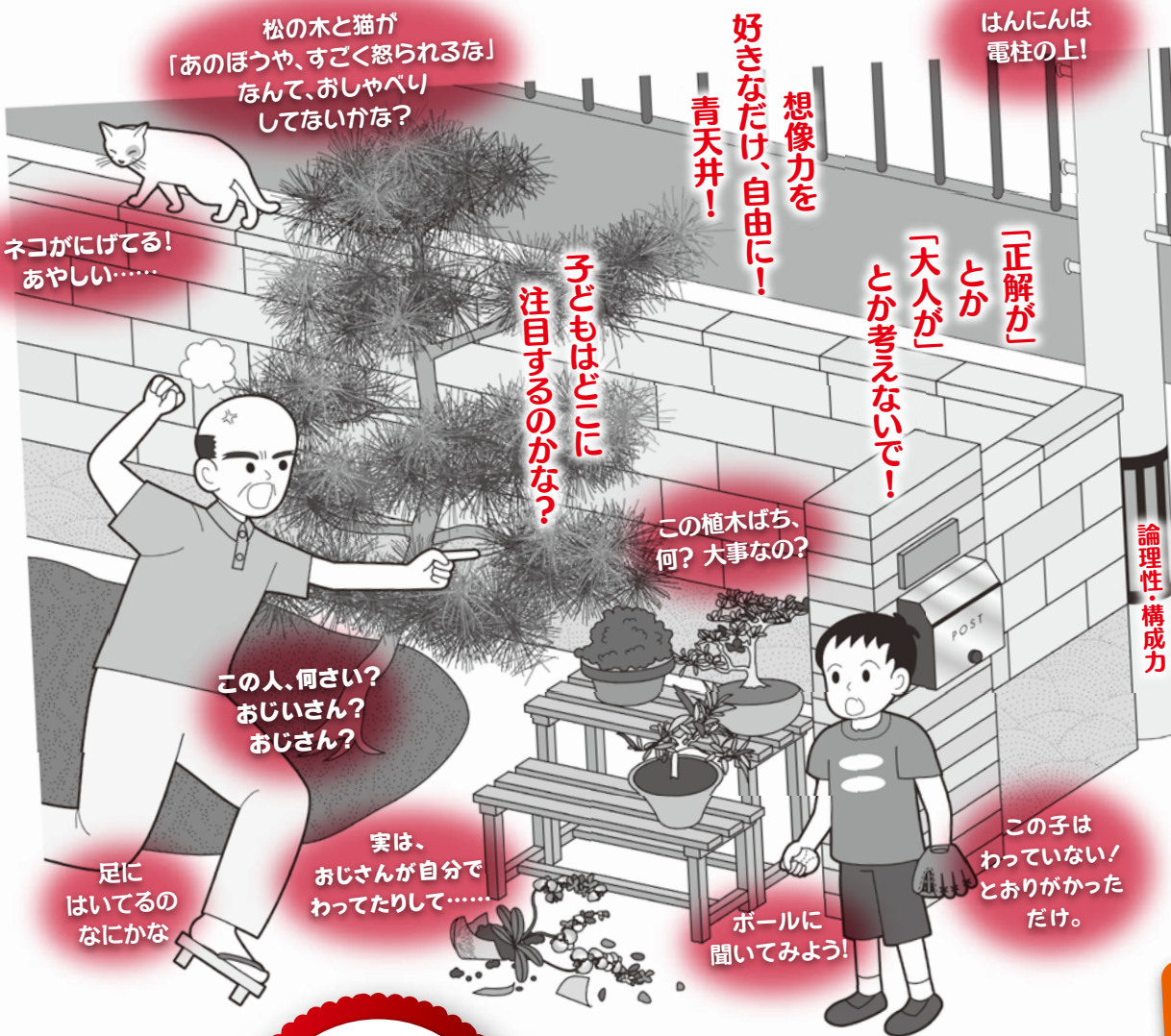
# 四年 日能研 全国テスト

うちの子に  
できるかしら?

このテスト、  
何の役に立つの?

これ、国語?

国語(四〇分)



左の絵を見て、あなたが自由にお話を考えてみましょう。そして、絵にかかれてあることをな  
るべく入れながら、そのお話を文章に書いてみましょう。

広がるチカラ、夢中力  
ファンタジーのチカラ

感じるチカラ  
つながるチカラ  
共にいるチカラ

伝えるチカラ  
表現するチカラ  
論理性・構成員

子ども達の  
実際の解答例は  
日能研ホームページで!

アタマと  
ココロが動くから、  
**無答率  
3.7%**  
低い!

採点できるの?  
正解は?

この問題で  
何がハカれるの?

漢字の書き取りが  
最初じゃないの?

## 子どもが わかるテスト。



すぐ簡単に解けるテストで、測ることが出来るものは?  
正解は一つ、誰が解いても同じ答えになるテストで測れるものは、「知っている」や「できる」の量です。すなわち、それは、それらを数値化したら、それが「子どものすべり」。

日能研は、子どもの内側に「二歩踏み込みたい。未知と出会ったとき、子ども達はいろいろなことを「ココロで感じて、アタマで考えます。そんなアタマ+ココロが動き出すようなテストをつくりたい。」「子どもが答えを書かない」をなくしたい。だから、子ども達がバックグラウンドストーリーやキャラクター設定の中に飛び込んで、思わず「自分から考えたい」ようになる「どうに工夫をしています」。

「知っている」「できる」だけじゃなくて、「感じる」「考える」「探求する」「想像する」「創造する」「表現する」などなど、子ども達が持っているチカラどれも使って取り組んでほしい。だから、答えが一つには定まらない、自分のアタマや「ココロ」の動きと向き合い、言葉にして伝える記述問題を多くしています。

そんなテストから見えてくるのは、数値化できない子どもの内側。未知へのアプローチや考え方のスタイル。「ええっ、そんなところに目を向けていたの?」「なんて、大人が思ってもみなかった姿が見えてくる」とも。できる「を確かめるだけのありきたりのテストよりも、子どもも「自分もできる」「自分もわかる」。

子どもを知る。いままで我が子に渡してきた学びを振り返る。それは、我が子を通じて、「保護者が自分の学びを振り返る」という「こと」でもあります。いまの勉強方法を、そのまま続ける? 未来をひろげるチカラは育つ? <日能研全国テスト>「これからの学び方」に出会い、リスタートするチャンスです!

まあ、簡単なテストで「できる」を測って安心しますか? それとも「子どもの学びの「いま」を通して未来を見ますか?

自分の学びを見つける! 育てる!

小学校2~5年生なら、どなたでも参加できます!

# 日能研 全国テスト

10月27日

小3 小4 小5

11月4日

小2

参加無料

